2026年11月16日

各　　位

会　社　名　株式会社フェローテック
代表者名　代表取締役社長　賀　賢漢
（コード番号：6890 東証スタンダード市場）
問合わせ先　ＩＲ・広報部長　野田　耕一
（０３－３２８１－８１８６）

（開示事項の経過）決算説明資料および中期経営計画（ローリングプラン）資料の開示について

株式会社フェローテック（代表取締役社長 賀 賢漢、以下「当社」）は、本日中期経営計画（ローリングプラン）を別紙のとおり開示いたしましたので、お知らせいたします。

１．主要目標値の推移

（百万円）	26/3 月期	26/12 月期		27/12 月期		28/12 月期	
	実績値	前回目標値 ('26/8/14)	**今回目標値 ('26/11/16)**	前回目標値 ('26/5/15)	**今回目標値 ('26/11/16)**	前回目標値 ('26/5/15)	**今回目標値 ('26/11/16)**
売　上　高	**288,933**	380,000	**400,000**	400,000	**480,000**	450,000	**600,000**
営業利益	**27,561**	60,000	**68,000**	48,000	**82,000**	57,000	**103,000**
営業利益率	**9.5%**	15.8%	**17.0%**	12.0%	**17.1%**	12.7%	**17.2%**
当期純利益	**14,886**	36,000	**50,000**	30,000	**58,000**	38,000	**72,000**
設備投資	**54,598**	65,000	**70,000**	55,000	**80,000**	40,000	**75,000**

２．目標値設定の背景

・生成 AI への活発な投資を背景に、当社の半導体等装置関連事業、電子デバイス事業の製品群に係る需要は急速に高まっております。そうした需要に応え工場稼働率が高まっていること、製品構成の面でも当社が強みを持つサーモモジュールなどの収益性が高い製品の売上が増加する傾向が高まっているため、今期業績のみならず、来期以降の業績予想値も大幅に引き上げることといたしました。
・その際、現状の生産能力のままでは、需要の取り込みを十分に行うことができなくなる懸念があり、設備投資の見通しについても引き上げることといたしました。

３．備考

・詳細は別紙をご確認ください。
・なお、別紙資料は当社 Web サイトにも掲示しております。
資料掲示箇所：https://www.ferrotec.co.jp/ir/ir_company_info_session.php

※上記の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。従いまして、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以　上

2026年12月期 第２四半期
決算補足説明資料

株式会社フェローテック



1. 当期連結決算においては、連結子会社は2026年１月～2026年９月末の業績を連結しております。
2. 本資料は、2026年12月期第２四半期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
3. 本資料は開示日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり予告なしに変更されることがあります。

Copyright © 2026 Ferrotec Corporation All Rights Reserved.

事業の概況

- 半導体製造装置メーカー向けの半導体マテリアル・金属加工の需要増加が益々加速、受注増加が継続すると共に、生産キャパ増加への期待・要請が高まっている。顧客と増産対応の協議を進めているところ。
- 光トランシーバー向けサーモモジュールの足許需要及び案件は力強い。車載関連は、中国EV車輸出増を背景に回復基調。

半導体等装置関連	・米国向け、中国向け共に需要増加が加速、特にセラミックス・金属加工はキャパ逼迫 ・マレーシアクリムの量産化進展、第二工場は'27Q2稼働本格化、2028年需要により更なる投資を検討 ・部品洗浄は中国市場のハイグレードデバイスメーカ・装置メーカ向けの高付加価値品が増加、業績伸長、更なる投資を検討
電子デバイス	・サーモモジュールは大手光トランシーバーメーカー向けに需要が力強く、将来案件の引合い多い。過去の技術蓄積と生産自動化が奏功し、光トランシーバー向けの品質と数量急増への対応力が評価されている ・センサ事業は、国内工場の増強を含め、事業強化に注力。ハイグレードパッケージ、光トランシーバー、医療向けの拡大を推進
車載関連	・中国EV車輸出増に伴いパワー半導体用基板（特にAMB基板）の生産増・材料内製率50%超過・外販開始により、売上・利益の回復に取組み

業績計画進捗

- 2027/12期、半導体関連の需要増加が継続、サーモモジュールの光トランシーバー向けも増加継続の見通し、中国工場の高稼働率と共にマレーシアクリム第1・第2の稼働上昇により、売上・利益が成長する見通し
- 2028/12期は、半導体関連の需要増加が継続、中国外生産ニーズ・Ex-China追加投資を見込むが、マレーシアクリム工場の生産性向上により追加投資コストを吸収、サーモモジュールは光トランシーバー向けにら堅調な売上・利益を見込んでいる

	2026/12期計画		2027/12期計画		2028/12期計画	
	前(7/22)	後(11/16)	前(5/15)	後(11/16)	前(5/15)	後(11/16)
売上高	3,800億円	4,000億円	4,000億円	4,800億円	4,500億円	6,000億円
営業利益	600億円	680億円	480億円	820億円	570億円	1,030億円
純利益	360億円	500億円	300億円	580億円	380億円	720億円

投資計画更新

- 半導体関連は、米国顧客及び中国顧客からの生産キャパ増加の期待・要請が高まり、マレーシア及び日本の工場新設・拡張及び中国での生産キャパの増強を検討中であり、投資計画を引き上げた。マレーシア・日本への投資は、米国顧客等の需要増加と中国外生産（Ex-China）要請の高まりを想定したもの
- センサ事業について、日本工場等への投資を推進
- 2026年3月期～2027年12月期にかけて、グループ資産売却500億円を目指すことは不変

	2026/12期計画		2027/12期計画		2028/12期計画	
	前(5/15)	後(11/16)	前(5/15)	後(11/16)	前(5/15)	後(11/16)
設備投資額	650億円	700億円	550億円	800億円	400億円	750億円
減価償却額	321億円	310億円	366億円	340億円	396億円	410億円

2026年12月期　2Q実績および通期予想値　製品別売上高

（百万円）	2026年3月期　実績			2026年12月期								
	上期	下期	通期	1Q（実質上期実績）	（参考）前年上期比	2Q 実績	2Q累計 実績	3Q 予想	2Q+3Q（実質下期予想）	（参考）前年下期比	通期（予想）	（参考）前期比
半導体等装置関連	88,378	96,760	185,139	118,153	33.7%	73,129	191,283	70,338	143,468	48.3%	261,622	41.3%
真空シール・金属加工	22,557	26,661	49,218	34,597	53.4%	22,731	57,328	22,680	45,411	70.3%	80,009	62.6%
石英製品	16,440	17,936	34,376	19,211	16.9%	11,950	31,162	10,988	22,939	27.9%	42,150	22.6%
シリコンパーツ	6,713	6,649	13,363	9,220	37.3%	5,271	14,492	5,037	10,309	55.0%	19,529	46.1%
セラミックス	19,099	21,562	40,662	25,629	34.2%	18,123	43,753	17,854	35,977	66.9%	61,607	51.5%
CVD-SiC	4,639	2,949	7,588	1,834	-60.5%	1,599	3,433	1,575	3,174	7.6%	5,009	-34.0%
EBガン・LED蒸着装置他	3,932	3,604	7,536	5,346	36.0%	2,379	7,725	2,301	4,680	29.9%	10,027	33.1%
再生ウエーハ	2,216	2,661	4,878	3,200	44.4%	0	3,200	0	0	-100.0%	3,200	-34.4%
装置部品洗浄	8,294	10,309	18,603	12,966	56.3%	7,530	20,497	6,969	14,499	40.6%	27,466	47.6%
石英坩堝	4,484	4,425	8,909	6,144	37.0%	3,544	9,688	2,931	6,475	46.3%	12,620	41.7%
電子デバイス	28,090	29,494	57,584	39,954	42.2%	24,729	64,683	19,351	44,080	49.5%	84,034	45.9%
サーモモジュール	14,639	16,182	30,821	26,097	78.3%	17,364	43,461	12,497	29,861	84.5%	55,958	81.6%
パワー半導体基板	10,009	9,567	19,576	9,624	-3.8%	5,061	14,685	4,964	10,025	4.8%	19,649	0.4%
磁性流体他	616	589	1,205	455	-26.1%	289	744	252	541	-8.1%	996	-17.3%
センサ	2,825	3,155	5,980	3,778	33.7%	2,014	5,793	1,636	3,651	15.7%	7,429	24.2%
車載関連	15,991	13,252	29,245	16,046	0.3%	9,687	25,733	9,358	19,046	43.7%	35,092	20.0%
サーモモジュール	2,639	1,895	4,535	2,050	-22.3%	1,118	3,168	1,162	2,280	20.3%	4,331	-4.5%
パワー半導体基板	9,961	8,095	18,057	10,352	3.9%	6,708	17,061	6,193	12,901	59.4%	23,254	28.8%
センサ	3,390	3,263	6,653	3,642	7.4%	1,860	5,503	2,002	3,863	18.4%	7,506	12.8%
その他	8,520	8,443	16,964	8,283	-2.8%	4,871	13,155	6,095	10,967	29.9%	19,250	13.5%
合計	140,980	147,953	288,933	182,437	29.4%	112,417	294,855	105,144	217,562	47.0%	400,000	38.4%

Copyright © 2025 Ferrotec Corporation All Rights Reserved.

中期経営計画ＫＰＩ（最新）

- **半導体製造装置メーカーの需要増加の加速、光トランシーバー向けサーモモジュールの旺盛な需要、顧客からの生産キャパ増強の要請が高まっていることを反映し、中計KPIを見直し**

単位：百万円 (　)内は前回計画比		2026年3月期 実績	2026年12月期 予想(対8/14)	2027年12月期 計画（対5/15）	2028年12月期 計画（対5/15）
業績	売上高	288,933	400,000 (+20,000)	480,000 (+80,000)	600,000 (+150,000)
	営業利益	27,561	68,000 (+8,000)	82,000 (+34,000)	103,000 (+46,000)
	営業利益率	9.5%	17.0% (+1.2P)	17.1% (+5.0P)	17.2% (+4.5P)
	当期純利益	14,886	50,000 (+15,000)	58,000 (+28,000)	72,000 (+34,000)
資本効率	ROE	6.0%	→	→	18.0%
	ROIC※1	3.2%	→	→	11.0%
財務	自己資本比率	37.6%	40.0%	40.0%	40.0%
	設備投資額	54,598	70,000 (+5,000)	80,000 (+25,000)	75,000 (+35,000)
株主還元	1株あたり配当金※2（年間）	148.0円	300.0円	DOE（連結株主資本配当率※2）を採用、下限を3.5%に設定 自社株式取得を機動的に検討、総還元性向50%を目指す	

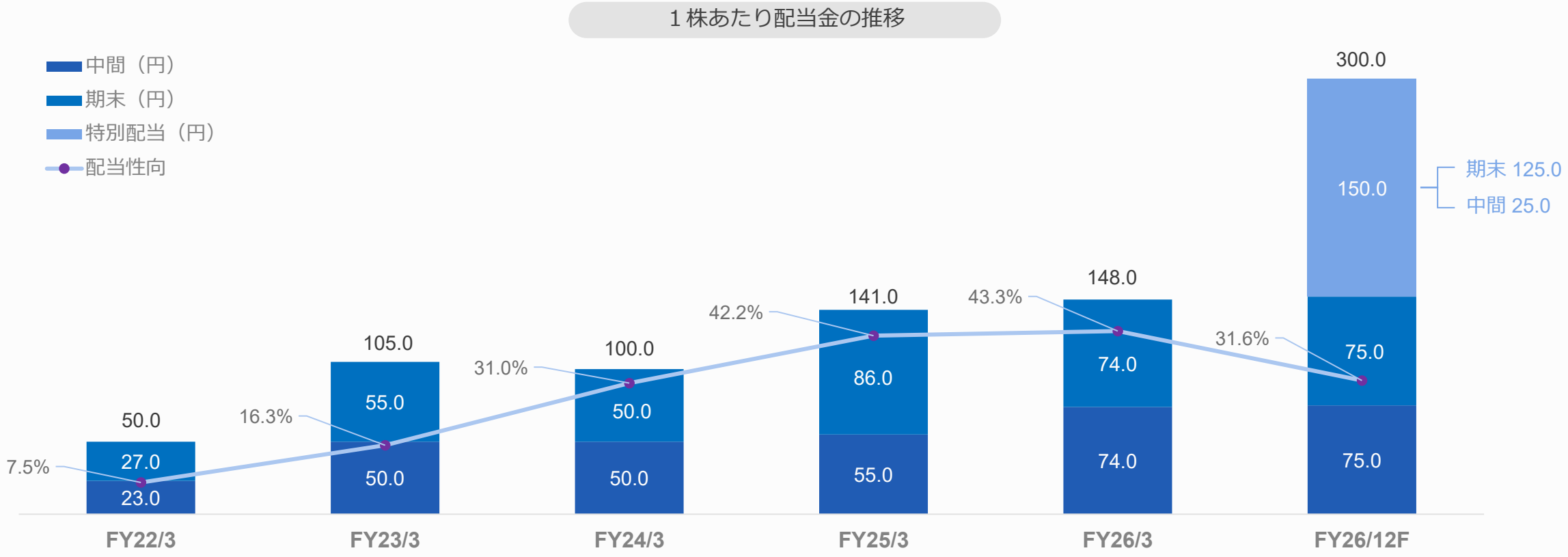
※1 親会社帰属純利益/(有利子負債＋純資産)　但し純資産は新株予約権、非支配株主持分は除く

※2 連結株主資本=資本金＋資本剰余金＋利益剰余金-自己株式、連結株主資本配当率=配当金総額÷連結株主資本

Copyright © 2026 Ferrotec Corporation All Rights Reserved.

株主還元方針

- 株主還元強化を図るため、DOEを採用し下限を3.5%に設定、財務の状況を考慮しながら、自社株式の取得を機動的に検討し、総還元性向50%を目指して充実を図っていく（既存方針から不変）
- 配当金は見直し、通期300円/株（普通配当150円＋特別配当150円）を予定
- 2026年12月期～2028年12月期にかけて、250億円を上限に自己株買いを実施する方針は不変



Copyright © 2026 Ferrotec Corporation All Rights Reserved.

Appendix

Copyright © 2026 Ferrotec Corporation All Rights Reserved.

2026年12月期Q2は 子会社９か月分 が計上

- 決算期変更により、<u>今期のQ1決算には当社が「4～9月」、連結子会社が「1～9月」の実績が計上されています</u>
- なお、今期は「2026年4～12月」/9か月決算となりますが、当社の連結子会社は12月決算であることから、
  連結子会社は１月～12月/12カ月の売上損益が計上され、当社単体のみ4月～12月/９か月の売上損益が計上されます
  よって、9か月決算となることの連結業績への影響は限定的です



※今期の当社Q1決算は2026年4～6月（子会社は同1～6月）、Q2決算は同4～9月（子会社は同1~9月）の実績となります。

Copyright © 2026 Ferrotec Corporation All Rights Reserved.

クリム投資（第１、第２の概況）

- クリム第1工場

  -各製品ともほぼフル稼働

  -安定した製品供給と管理能力の向上を図るための人材育成に注力

- クリム第2工場

  -10/28にケダ州幹部、主要顧客企業等列席のもと竣工式を開催

  -今後、製品の認証取得を経て2027年半ばから製品供給開始予定



クリム第2工場竣工式の様子（10/28)

Copyright © 2026 Ferrotec Corporation All Rights Reserved.

将来見通しの記述に関しての注意・免責事項

- 本資料に掲載されている将来見通しの記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因の仮定を前提としております。
- 実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績に影響を与える要素には、国際情勢、経済情勢、製品の需給動向、原材料価額および市況、為替レートなどが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 本資料の数値は、百万円単位もしくは億円単位に端数処理をして記載しております。したがって、決算短信や有価証券報告書等の開示書類の数値と完全に一致しない場合がございます。
- 本資料中の定量目標などは、あくまで中長期的な戦略、ビジョン等を示すものであり業績予想ではありません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
- 正式な業績予想は、東京証券取引所規則に基づく決算短信での開示をご参照ください。

Copyright © 2026 Ferrotec Corporation All Rights Reserved.



Copyright © Ferrotec Corporation All rights reserved.